

# 東アジア古典学の方法 第24回

## 次世代ロンド（4）

日時：2016年12月2日（金）14時より

場所：京都大学吉田南キャンパス

吉田南総合館・南棟 334 室

クリストファー リーズ（国文学研究資料館 助教）

「江戸・明朝・西洋の類書を比べる——専安の『唐土訓蒙図彙』を例にして」

マシュー フレーリ（ブランダイス大学 准教授）

「欧米の研究者は日本漢詩文をどのように捉えてきたか」

コメンテーター：黄 一丁（京都大学大学院 博士課程） 宋 晗（東京大学大学院 博士課程）

趙 偵宇（京都大学大学院 修士課程） 飛田 英伸（東京大学大学院 博士課程）

### 「次世代ロンド」とは

科研プログラム「東アジア古典学の次世代拠点形成——国際連携による研究と教育の加速」（代表：齋藤希史）では、2016年度より、若手研究者による研究発表・交流の場として「次世代ロンド」を立ち上げました。

大学院生やポスドク、助教、講師などの若手研究者から発表者を募り、自らの所属機関以外の場所での発表を奨励するのが特徴です。コメンテーターも同様に若手研究者から募集し、所属機関の枠を超えた研究交流の促進を図るものです。

主催：科研プログラム「東アジア古典学の次世代拠点形成——国際連携による研究と教育の加速」

<http://eacs.c.u-tokyo.ac.jp>（科研ホームページ）

お問い合わせ：eastasia@fusehime.c.u-tokyo.ac.jp

予約不要・来聴歓迎